

調布市の環境に関する市民アンケート調査結果 報 告 書

～調布市環境基本計画策定に向けて～

平成 27 年 3 月

調 布 市

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査内容	3
3 調査方法と期間	3
4 回収結果	4
第2章 調査結果	5
1 基礎的事項	7
2 環境への関心等について	10
3 調布市内の環境に対する現状の満足度と今後の重要度	12
4 環境に係る個人の取組について	19
5 次世代に残したい環境の財産	22
6 調布市の環境への要望	23
7 調布市の環境に対する意見	25
第3章 資料編	27
1 配布したアンケート調査票	29
2 回収結果	39
3 調査結果詳細（クロス集計結果等）	43
(1) 基礎的事項	45
(2) 環境への関心等について	45
(3) 調布市内の環境に対する現状の満足度と今後の重要度	47
(4) 環境に係る個人の取組について	92
(5) 次世代に残したい環境の財産	96
(6) 調布市の環境への要望	134
(7) 調布市の環境に対する意見	159

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、市民の環境に関する意識や行動を調査し、次期環境基本計画策定の基礎的資料を得ることを目的とした。

2 調査内容

調査は、以下の内容についてアンケートを実施した。

なお、調査票は、資料編 31～37 ページに示す。

- ① 基礎的事項
- ② 環境への関心等について
- ③ 調布市内の環境に対する現状の満足度と今後の重要度
- ④ 環境に係る個人の取組について
- ⑤ 次世代に残したい環境の財産
- ⑥ 調布市の環境への要望
- ⑦ 調布市の環境に対する意見

3 調査の方法と期間

(1) 調査対象者

調査対象者は、住民基本台帳から、18歳以上の市民を対象とし、性別・年齢・地域別を考慮し、2,000人 を無作為に抽出した。(表 1.3.1 調査対象者の抽出区分参照)

表 1.3.1 調査対象者の抽出区分

(単位:人)

地域区分(注)	男		女		計
	18～49歳	50歳以上	18～49歳	50歳以上	
東部地域	125	125	125	125	500
西部地域	125	125	125	125	500
南部地域	125	125	125	125	500
北部地域	125	125	125	125	500
計	500	500	500	500	2,000

注：地域区分（各地域に含まれる町名）

東部地域	西部地域	南部地域	北部地域
菊野台	飛田給	小島町	佐須
東つつじヶ丘	上石原	布田	柴崎
西つつじヶ丘	富士見町	国領町	調布ヶ丘3・4
入間町	下石原	染地	深大寺元町
仙川町	多摩川	多摩川	深大寺北町
緑ヶ丘	野水	調布ヶ丘1・2	深大寺東町
若葉町	西町	八雲台	深大寺南町

(2) 配布と回収

アンケート調査票の配布・回収は郵送によって行った。

(3) 回収期間

回収期間：平成27年1月20日～平成27年2月6日

回収の締切日は、平成27年2月6日であったが、平成27年3月3日までに届いたアンケートを集計した。

第2章 調査結果

第2章 調査結果

調査結果中の図表中に記載した比率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため百分率の合計が100%にならない場合があり、合計表示と一致しない場合がある。

1 基礎的事項

(1) 性別

設問	質問	回答 (○印をつけてください)
1	性別	①男性 ②女性

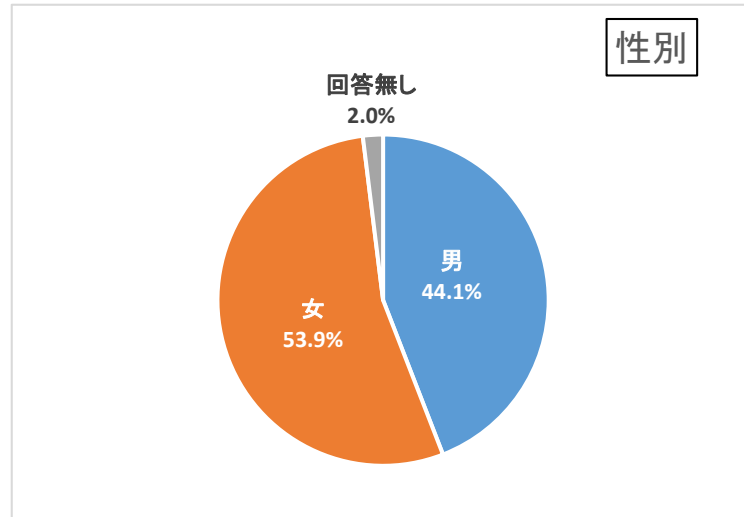


図 2.1.1 性別 n = 764

・性別は、男性 44.1%、女性 53.9%、回答無しが 2.0%と女性の方が1割程度多かった。

(2) 年齢

設問	質問	回答 (○印をつけてください)
2	年齢	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上

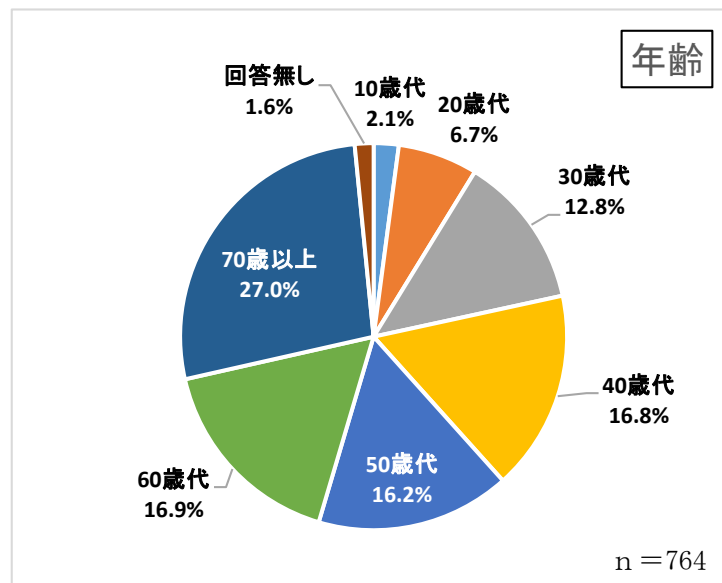


図 2.1.2 年齢

・回答者の年齢は、70歳以上が約3割を占めた。
 ・40歳代、50歳代、60歳代は16%程度でほぼ同様の回答数であったが、30歳代は12.8%、20歳代は6.7%と低年齢の回答者数が少なかった。

(3) 住まいの地域

設問	質問	回答 (○印をつけてください)
3	お住まいの地域	①飛田給 ②上石原 ③富士見町 ④下石原 ⑤小島町 ⑥布田 ⑦国領町 ⑧染地 ⑨多摩川 ⑩佐須町 ⑪柴崎 ⑫菊野台 ⑬東つつじヶ丘 ⑭西つつじヶ丘 ⑮入間町 ⑯仙川町 ⑰緑ヶ丘 ⑱野水 ⑲西町 ⑳若葉町 ㉑調布ヶ丘 ㉒深大寺元町 ㉓深大寺北町 ㉔深大寺東町 ㉕深大寺南町 ㉖八雲台

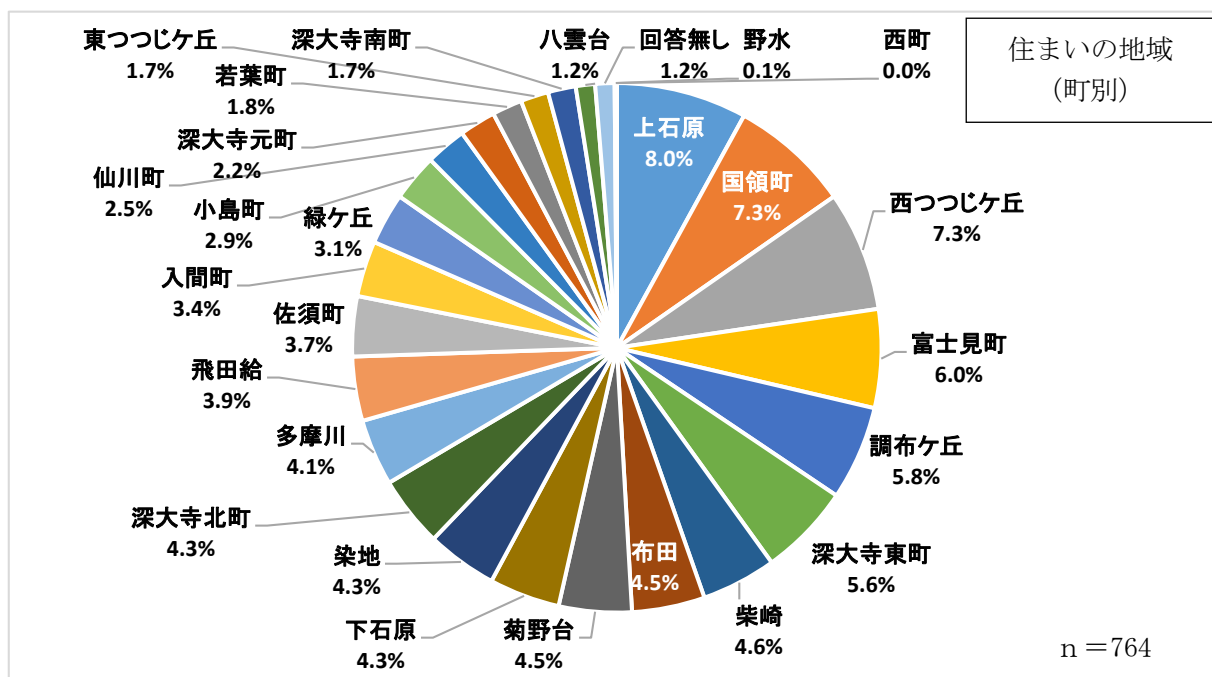
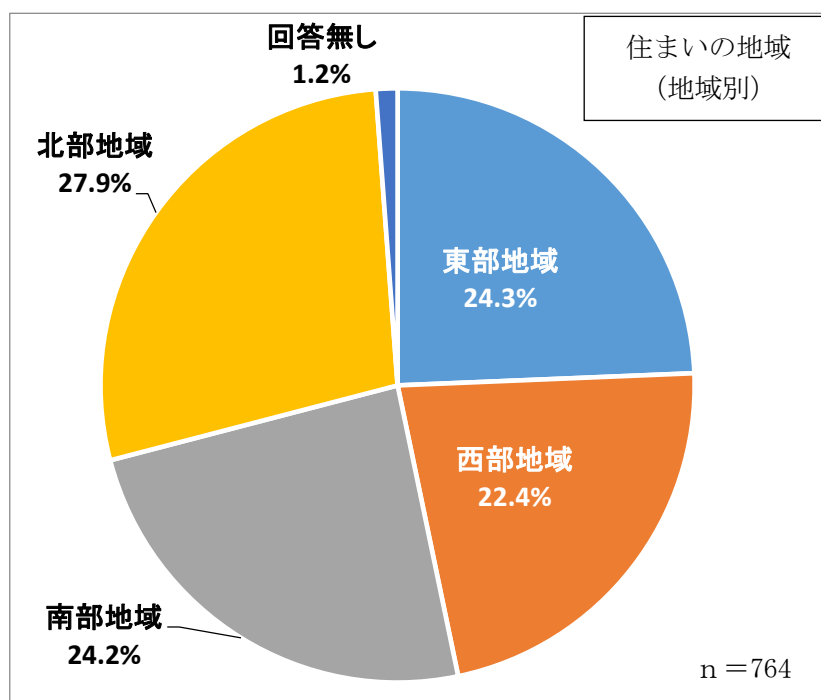


図 2.1.3 (1) 住まいの地域 (町別)



注: 「地域」の内訳は、3 ページ「注: 地域区分」参照。

図 2.1.3 (2) 住まいの地域 (地域別)

・回答者の住まいの地域は、北部地域で 27.9% と最も多く、西部地域が 22.4% で最も少なかったが、全体的に大きな差異は認められなかった。

(4) 調布市内における居住期間

設問	質問	回答 (○印をつけてください)
4	調布市内の居住期間	① 1年未満 ② 1年以上5年未満 ③ 5年以上15年未満, ④ 15年以上30年未満 ⑤ 30年以上

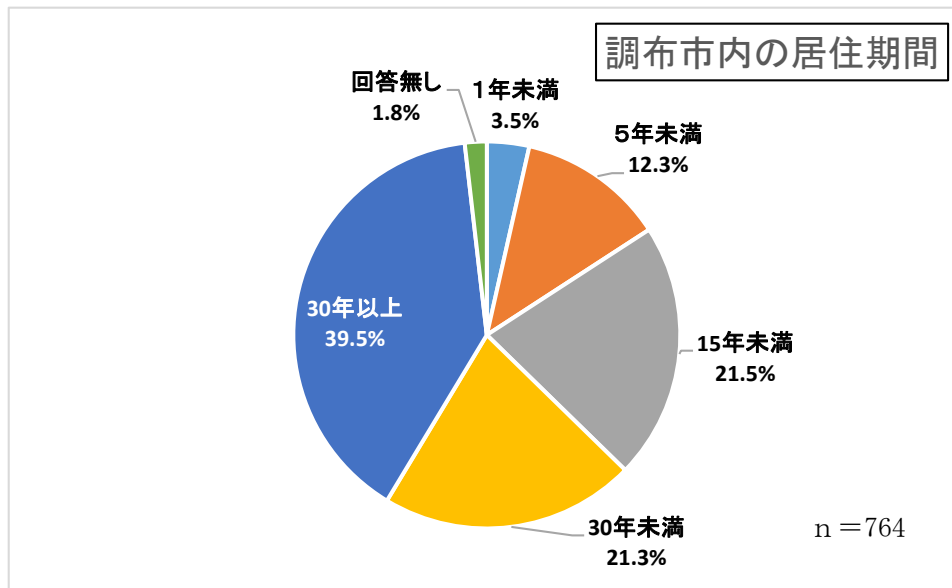


図 2.1.4 調布市内における居住期間

- ・調布市内における居住期間が「30年以上」の回答者は39.5%を占めた。
- ・居住期間が15年以上の回答者は、60.8%であった。

(5) 職業

設問	質問	回答 (○印をつけてください)
5	職業	①農林業 ②自営業及びその家族従事者 ③会社員・公務員など ④教員など ⑤派遣・契約、パート・アルバイト ⑥学生 ⑦家事専業 ⑧無職 ⑨その他 ()

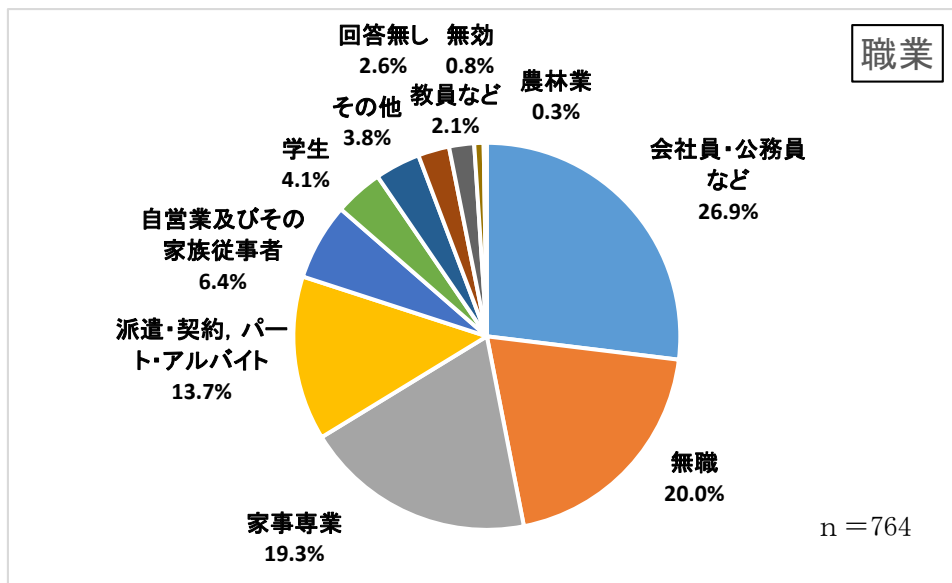


図 2.1.5 職業

- ・回答者の職業は、「会社員・公務員など」が最も多く、次いで「無職」、「家事専業」の順であった。
- ・「⑨その他」の回答の内容は、資料編 45 ページ参照。

2 環境への関心等について

(1) 環境への関心度合いについて

設問	質問	回答
1	環境への関心度合いについてお答えください。	①とても関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない・興味がない ⑤その他 ()

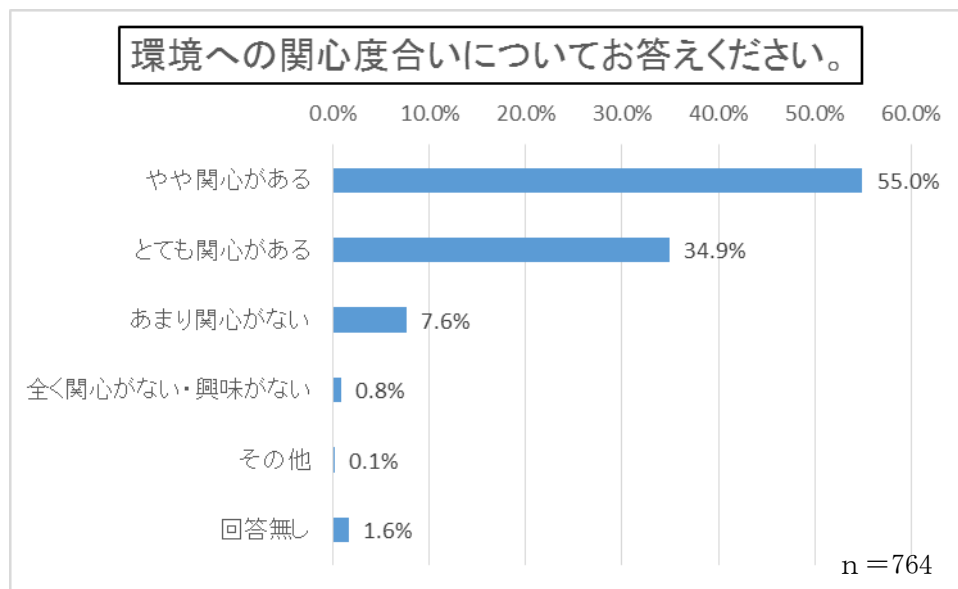


図 2.2.1 環境への関心度合い

- ・環境への関心度合いについては、「やや関心がある」が 55.0% で最も多かった。
- ・「とても関心がある」、「やや関心がある」回答者の合計は 89.9% を占め、環境への関心が高かった。
- ・「⑤その他」の回答の内容は、資料編 45 ページ参照。

(2) 環境に関する情報の主な入手先 (複数回答可)

設問	質問	回答
2	環境に関する情報の主な入手先 (複数回答可)	①テレビ・ラジオ ②新聞 ③一般図書・雑誌 ④友人・知人・家族 ⑤町内会・サークル活動 ⑥大学等の公開講座・生涯学習講座 ⑦講演会などの催し物 ⑧市報ちょうふ ⑨環境等に関する市民団体発行の広報媒体 ⑩インターネット ⑪その他 ()

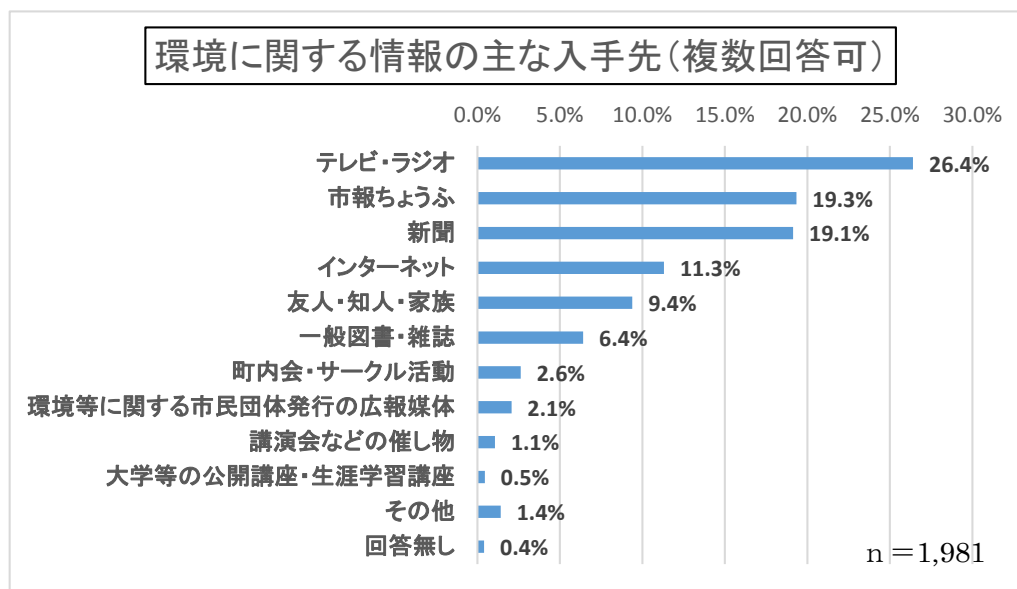


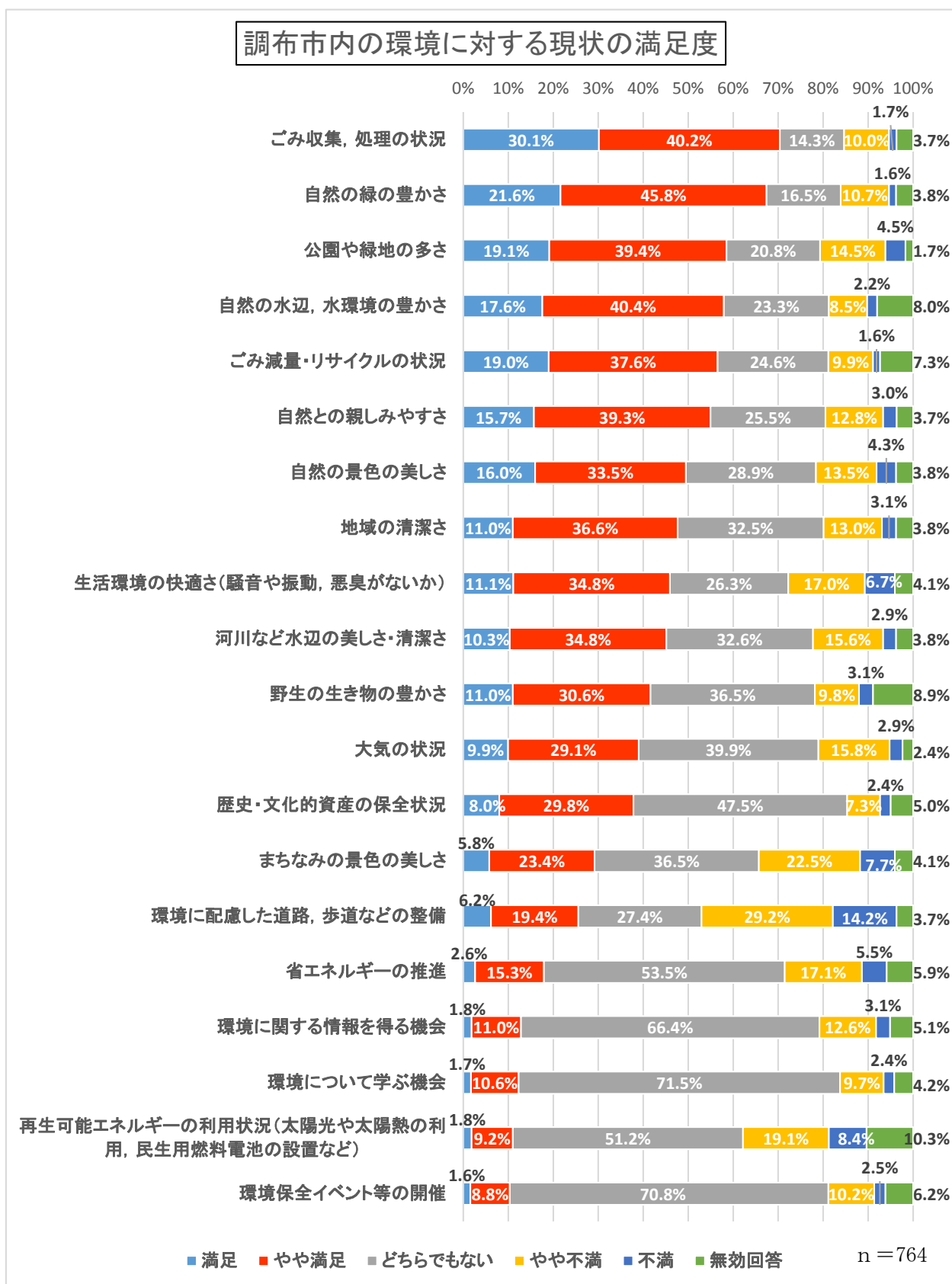
図 2.2.2 環境に関する情報の主な入手先

- ・環境に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオ」が最も多く、次いで「市報ちょうふ」、「新聞」、「インターネット」の順であった。
- ・他の項目については、10%以下であり、主な入手先とはなっていなかった。
- ・「⑪その他」の回答の内容は、資料編 46 ページ参照。

「設問」

エ 快適な空間の形成と維持										
①現状についてあなたの満足度					項目	②今後の重要度				
満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらでもない	やや重要ではない	重要ではない
					公園や緑地の多さ					
					自然との親しみやすさ					
					自然の景色の美しさ					
					まちなみの景色の美しさ					
					歴史・文化的資産の保全状況					
ご意見・ご要望等記入してください（自由回答）										
オ 安心して暮らせる生活環境										
①現状についてあなたの満足度					項目	②今後の重要度				
満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらでもない	やや重要ではない	重要ではない
					大気の状態					
					河川など水辺の美しさ・清潔さ					
					生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭がないか）					
					地域の清潔さ					
					環境に配慮した道路、歩道などの整備					
ご意見・ご要望等記入してください（自由回答）										
カ その他（環境に係る協働や学習の推進）										
①現状についてあなたの満足度					項目	②今後の重要度				
満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらでもない	やや重要ではない	重要ではない
					環境について学ぶ機会					
					環境に関する情報を得る機会					
					環境保全イベント等の開催					
ご意見・ご要望等記入してください（自由回答）										

(1) 調布市内の環境に対する現状の満足度



注：未回答（空欄）および重複回答を無効回答とした。

図 2.3.1 調布市内の環境に対する現状の満足度

調布市内の環境に対する現状の満足度について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・現状の満足度（満足、やや満足の合計）で見ると、高かったのは「ごみ収集、処理の状況」（70.3%）、「自然の緑の豊かさ」（67.4%）、「公園や緑地の多さ」（58.5%）、「自然の水辺、水環境の豊かさ」（58.0%）、「ごみ減量・リサイクルの状況」（56.6%）、「自然との親しみやすさ」（55.0%）で、「自然」や「ごみ」に対する満足度が高かった。
- ・現状の満足度が低かったのは「環境保全イベント等の開催」（10.4%）、「再生可能エネルギーの利用状況」（11.0%）、「環境について学ぶ機会」（12.3%）、「環境に関する情報を得る機会」（12.8%）、「省エネルギーの推進」（17.9%）と続き、「環境に関する情報」や「省エネルギー」に関する項目で満足度が低かった。
- ・不満とやや不満の合計が最も大きかったのは、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」で43.4%、次いで「まちなみの景色の美しさ」（30.2%）、「生活環境の快適さ」（23.7%）であった。
- ・どちらでもないと回答無しの合計が最も多かったのは、「環境保全イベント等の開催」で77.0%、次いで「環境について学ぶ機会」が75.7%で、これらの項目については回答者の関心が低いことが示唆された。

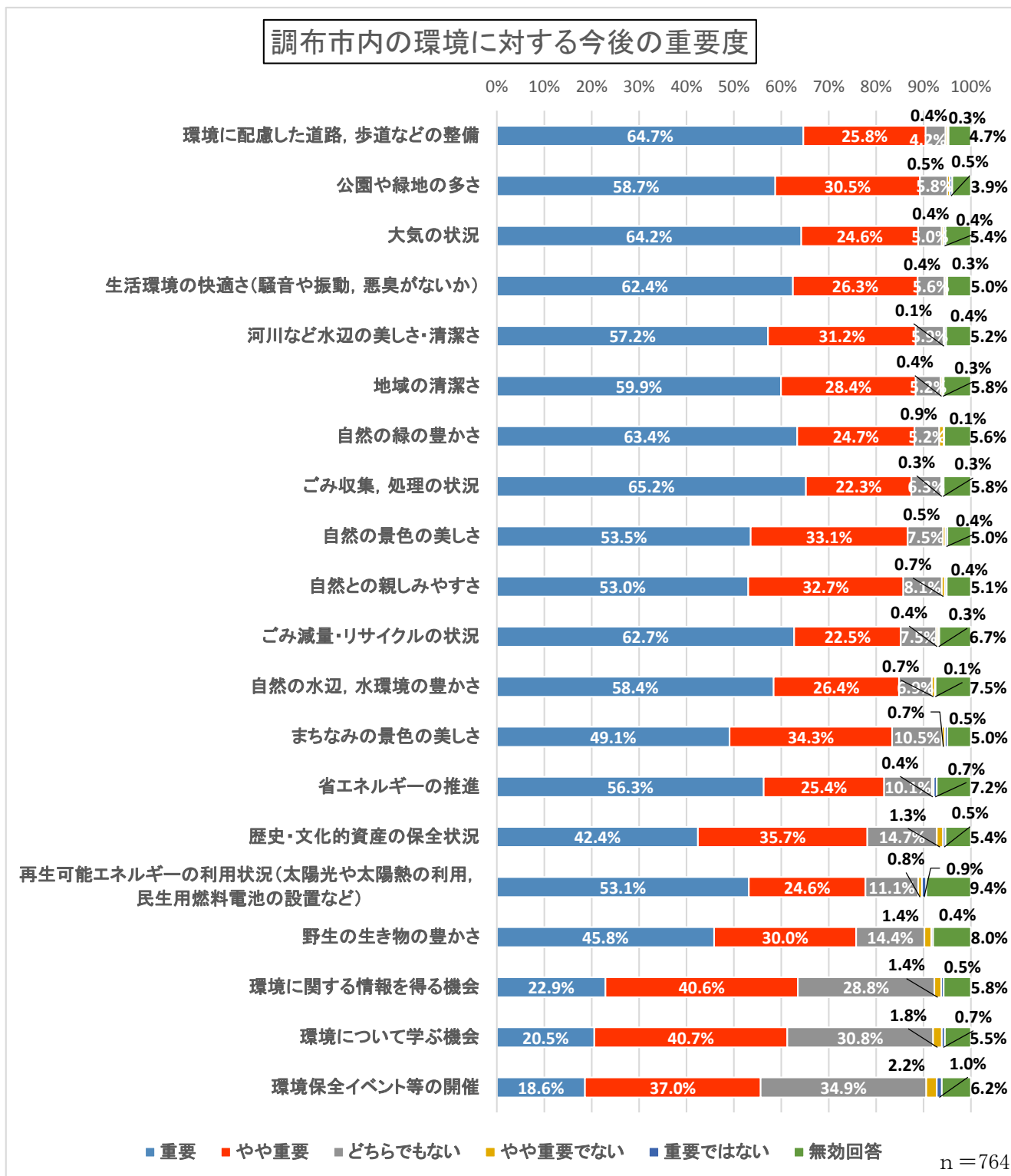
<クロス集計結果（資料編 47～56 ページ参照）>

- ・北部地域（資料編 56 ページ参照）では「自然の緑の豊かさ」（82.2%）の満足度が最も高く、他の3地域（資料編 53～55 ページ参照）では「ごみ収集、処理の状況」（東部地域：69.4%、西部地域：70.1%、南部地域：68.7%）の満足度が最も高かった。

<自由回答結果>

- ・自由回答の詳細は、資料編 67～91 ページを参照。
- ・「安心して暮らせる生活環境」における放射線に関する自由回答は、193 件中 3 件。（資料編 83～88 ページ参照）

(2) 調布市内の環境に対する今後の重要度



注：未回答（空欄）および重複回答を無効回答とした。

図 2.3.2 調布市内の環境に対する今後の重要度

調布市内の環境に対する今後の重要度について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・今後の重要度（重要、やや重要の合計）については、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」について90.5%と、今後の重要度が高かった。
- ・次いで、「公園や緑地の多さ」(89.2%)、「大気の状態」(88.8%)、「生活環境の快適さ（騒音や振動，悪臭がないか）」(88.7%)、「河川など水辺の美しさ・清潔さ」(88.4%)、「地域の清潔さ」(88.3%)、「自然の緑の豊かさ」(88.1%)などの「自然」や「美化」に関する項目について、今後の重要度が高かった。

<クロス集計結果（資料編 57～66 ページ参照）>

- ・地域別にみると、東部地域（資料編 63 ページ参照）では「河川など水辺の美しさ・清潔さ」(91.9%)、西部地域（資料編 64 ページ参照）と北部地域（資料編 66 ページ参照）では「環境に配慮した道路、歩道などの整備」（西部地域：91.6%、北部地域：90.7%）、南部地域（資料編 65 ページ参照）では「公園や緑地の多さ」(91.3%)の重要度が最も高かった。

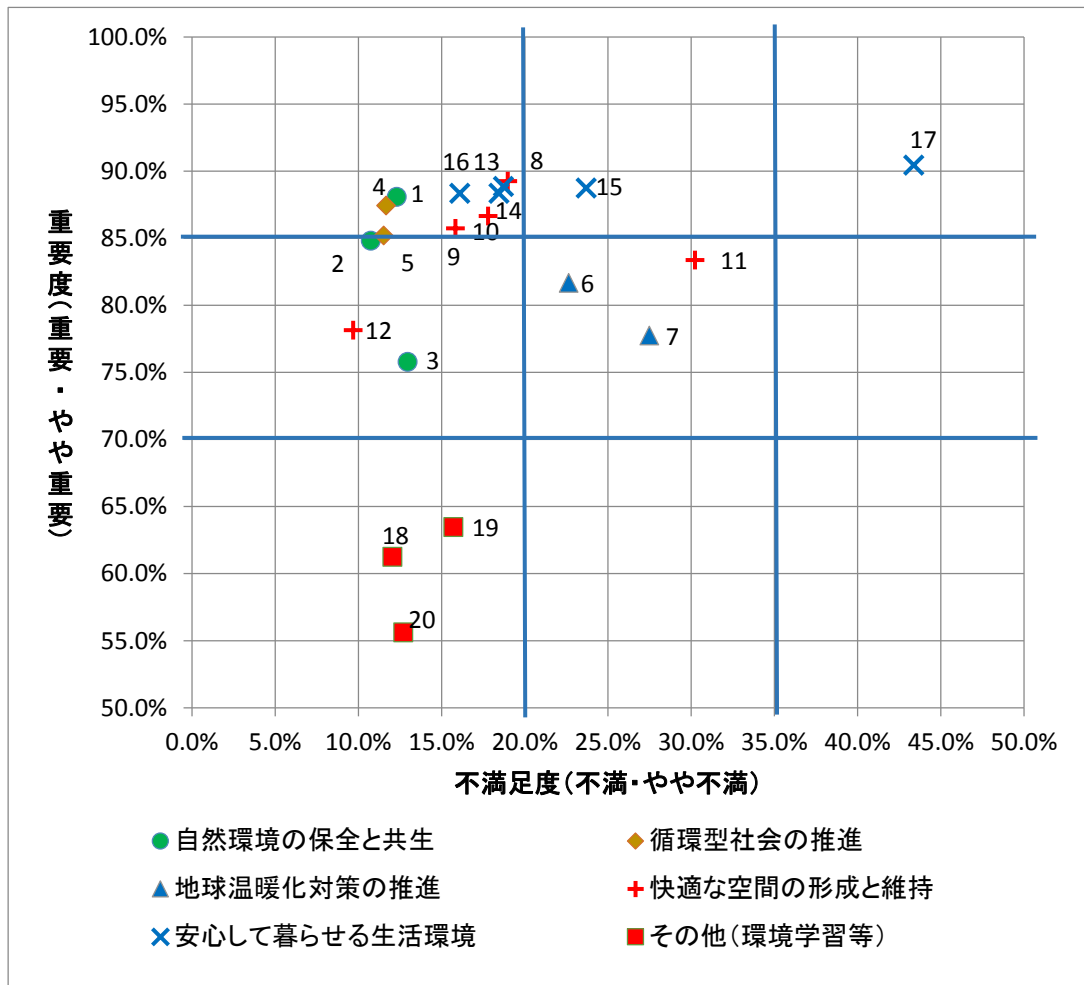


図 2.3.3 重要度と不満足度のマトリクス

<重要度と不満足度のマトリクス分析結果（17 ページ参照）>

- ①重要度が非常に高く（85%以上）、不満足度が中位（35～50%）の項目（項目番号：17）
 - ・「17 環境に配慮した道路、歩道などの整備」は、不満足度が 43.4%と中位ではあるが項目中では最も高く、重要度も 90.5%と非常に高かった。このことから、今後改善すべき課題として重要であることが示された。
- ②重要度が非常に高く（85%以上）、不満足度がやや低い（20～35%）項目（項目番号：15）
 - ・「15 生活環境の快適さ」については、重要度が 88.7%と非常に高かったが、現状の不満足度は 23.7%とやや低く、現状を維持しつつ、さらに不満足度を低減させることが望ましいと考えられる。
- ③重要度が非常に高く（85%以上）、不満足度が低い（20%未満）項目（項目番号：1, 4, 5, 8, 9, 10, 13, 14, 16）
 - ・「1 自然や緑の豊かさ」、 「4 ごみ収集・処理の状況」、 「5 ごみ減量・リサイクルの状況」、 「8 公園や緑地の多さ」、 「9 自然との親しみやすさ」、 「10 自然の景色の美しさ」、 「13 大気の状態」、 「14 河川など水辺の美しさ・清潔さ」、 「16 地域の清潔さ」については、重要度が非常に高かったが、現状の不満足度は低く、現状を維持しつつ、さらなる充実を図ることが望ましいと考えられる。
- ④重要度が高く（70～85%）、不満足度がやや低い（20～35%）の項目（項目番号：6, 7, 11）
 - ・「6 省エネルギーの推進」、 「7 再生可能エネルギーの利用状況」、 「11 まちなみの景色の美しさ」については、重要度が高く、現状の不満足度がやや低かったことから、さらなる改善を図り、さらに不満足度を低減させることが望ましいと考えられる。
- ⑤重要度が高く（70～85%）、不満足度が低い（20%未満）項目（項目番号：2, 3, 12）
 - ・「2 自然の水辺、水環境の豊かさ」、 「3 野生の生き物の豊かさ」、 「12 歴史・文化的遺産の保全状況」については、いずれも重要度が高かったが、不満足度は 20%未満と低く、現状を維持していくことが重要と考えられる。
- ⑥重要度が中位（50～70%）で、不満足度が低い（20%未満）項目（項目番号：18, 19, 20）
 - ・「18 環境について学ぶ機会」、 「19 環境に関する情報を得る機会」、 「20 環境保全イベント等の開催」については、不満足度が 20%未満、重要度が 65%未満と、いずれも高くはなかったことから、今後市民への周知方法などについて大いに工夫する余地が高いと考える。

4 環境に係る個人の取組について

「設問」

(4) 環境に係る個人の取組について

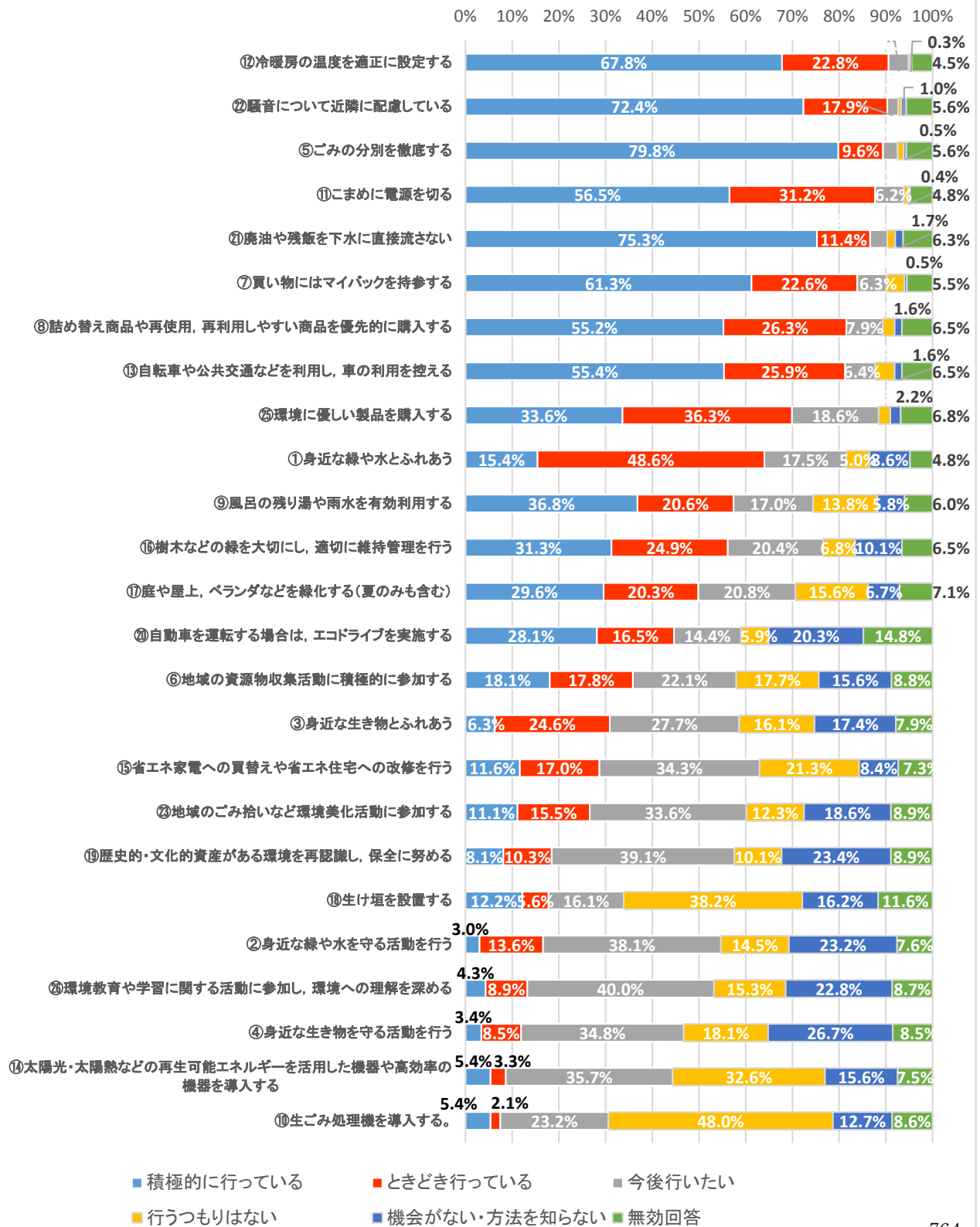
あなたが日頃行っている取組、行ってみたい取組についてお伺いします。それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、○をつけてください。

	保全活動の内容	積極的に行っている	ときどき行っている	今後行いたい	行うつもりはない	機会がない・方法を知らない
自然環境の保全と共生	①身近な緑や水とふれあう					
	②身近な緑や水を守る活動を行う					
	③身近な生き物とふれあう					
	④身近な生き物を守る活動を行う					
循環型社会の推進	⑤ごみの分別を徹底する					
	⑥地域の資源物収集活動に積極的に参加する					
	⑦買い物にはマイバックを持参する					
	⑧詰め替え商品や再使用、再利用しやすい商品を優先的に購入する					
	⑨風呂の残り湯や雨水を有効利用する					
	⑩生ごみ処理機を導入する。					
地球温暖化対策の推進	⑪こまめに電源を切る					
	⑫冷暖房の温度を適正に設定する					
	⑬自転車や公共交通などを利用し、車の利用を控える					
	⑭太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギーを活用した機器や高効率の機器を導入する					
	⑮省エネ家電への買替えや省エネ住宅への改修を行う					
快適な空間の形成と維持	⑯樹木などの緑を大切にし、適切に維持管理を行う					
	⑰庭や屋上、ベランダなどを緑化する(夏のみも含む)					
	⑱生け垣を設置する					
	⑲歴史的・文化的資産がある環境を再認識し、保全に努める					
安心して暮らせる生活環境の構築	⑳自動車を運転する場合は、エコドライブを実施する					
	㉑廃油や残飯を下水に直接流さない					
	㉒騒音について近隣に配慮している					
	㉓地域のごみ拾いなど環境美化活動に参加する					
	㉔環境に優しい製品を購入する					
その他	㉕環境教育や学習に関する活動に参加し、環境への理解を深める					

※上記を推進するうえで課題となっていることはありますか？(該当される方のみ)

課題となっている内容の番号※複数選択可(①～㉕)	課題の内容

環境に係る個人の取組について



注：未回答（空欄）および重複回答を無効回答とした。

図 2.4.1 環境に係る個人の取組

<保全活動の内容>

回答者の環境に係る個人の取組について、「積極的にやっている」と「ときどきやっている」の合計について以下に示す。

- ・回答者の環境に係る個人の取組について、「⑫冷暖房の温度を適正に設定する」(90.6%)と「⑫騒音について近隣に配慮している」(90.3%)の2項目が90%を超えた。
- ・「⑤ごみの分別を徹底する」(89.4%)、「⑪こまめに電源を切る」(87.7%)、「⑪廃油や残飯を下水に直接流さない」(86.7%)、「⑦買い物にはマイバックを持参する」(83.9%)「⑧詰め替え商品や再利用、再利用しやすい商品を優先的に購入する」(81.5%)、「⑬自転車や公共交通などを利用し、車の利用を控える」(81.3%)で80%を超えた。
- ・「⑩生ごみ処理機を導入する」(7.5%)、「⑭太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギーを活用した機器や高効率の機器を導入する」(8.7%)については、10%未満であった。

<課題の内容>

- ・取り組みにおける課題となっている内容として、「⑭太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギーを活用した機器や高効率の機器を導入する」について、コストがかかる割に得るものが少ない、集合住宅や借地のため、設置が困難といったことがあげられた。(詳細は資料編 92～95 ページを参照)

5 次世代に残したい環境の財産（複数回答有）（詳細は資料編 96～133 ページを参照）

「設問」	
調布市で次世代に残したい又は残すべきと考える調布市の貴重な環境について、最大3つ回答してください。	
※場所の名称や特徴、選んだ理由を記入してください。	
場所や環境の特徴など (わかる範囲で)	残したい理由
①	
②	
③	

表 2.5.1 次世代に残したい環境の財産（件数）

区分全体			小区分（公園）		
区分	件数	比率	小区分（公園）	件数	比率
公園	438	42.4%	深大寺	262	55.6%
河川	376	36.4%	都立神代植物公園	125	26.5%
施設	37	3.6%	深大寺自然広場	36	7.6%
体育施設	23	2.2%	公園全般	22	4.7%
農地	23	2.2%	実篤公園	12	2.5%
社寺	19	1.8%	武蔵野の森	7	1.5%
自然	19	1.8%	若葉の森	7	1.5%
その他	18	1.7%	件数	471	100.0%
生物	16	1.5%			
駅	15	1.5%			
道路	12	1.2%			
飛行場	12	1.2%			
映画	9	0.9%			
崖線	9	0.9%			
景観	3	0.3%			
他	3	0.3%			
花火	2	0.2%			
件数	1034	100.0%			

小区分（河川）		
小区分（河川）	件数	比率
野川	243	63.4%
多摩川	128	33.4%
仙川	10	2.6%
川全般	2	0.5%
件数	383	100.0%

注1：小区分の「深大寺」の中には、回答中に「深大寺」とあるもの（例：深大寺、深大寺周辺、深大寺周辺の緑地 など）を含めた。

注2：「場所や環境の特徴など」に、「野川・多摩川」、「深大寺・神代植物公園」など複数の場所等が回答されているものについては、それぞれの小区分に加えて集計した。

- ・次世代に残したい環境の財産としては、公園と河川で80%近くを占め、上位5件は①深大寺、②野川、③多摩川、④都立神代植物公園、⑤深大寺自然広場であった。
- ・この他、仙川や、武蔵野の森公園、実篤公園、若葉の森など、緑が多い場所を残したいとの要望が比較的多かった。

表 2.5.2 次世代に残したい環境の財産上位5件

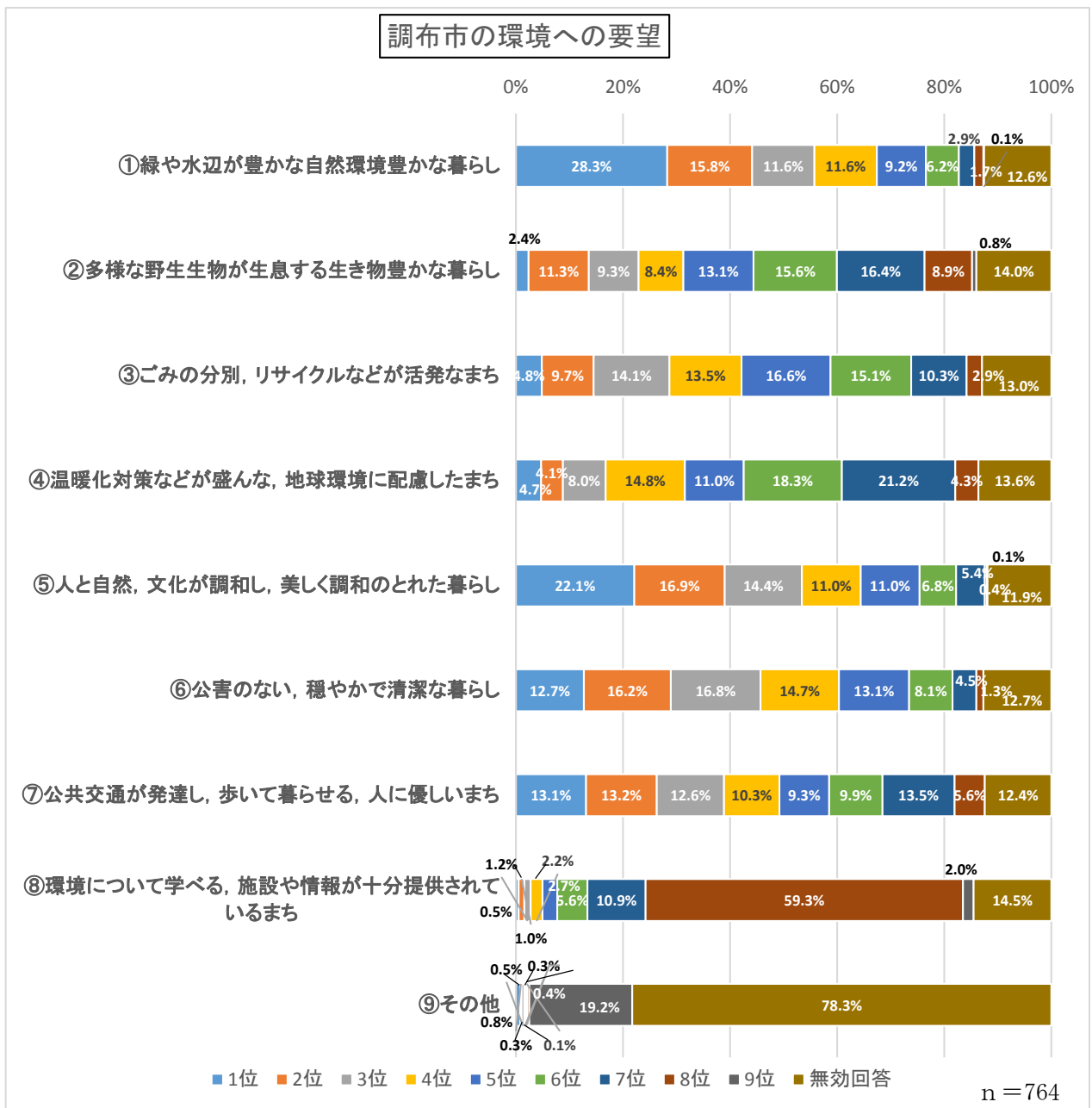
順位	対象名	件数
1	深大寺	262
2	野川	243
3	多摩川	128
4	都立神代植物公園	125
5	深大寺自然広場	36

6 調布市の環境への要望（詳細は資料編 134～158 ページを参照）

「設問」

下記について、あなたが調布市に対し求める優先順位を回答して下さい。

環境政策等に係る項目	順位 (①～⑨)
緑や水辺が豊かな自然環境豊かな暮らし	
多様な野生生物が生息する生き物豊かな暮らし	
ごみの分別、リサイクルなどが活発なまち	
温暖化対策などが盛んな、地球環境に配慮したまち	
人と自然、文化が調和し、美しく調和のとれた暮らし	
公害のない、穏やかで清潔な暮らし	
公共交通が発達し、歩いて暮らせる、人に優しいまち	
環境について学べる、施設や情報が十分提供されているまち	
その他 ()	



注1：図中の1位～9位の区分は、調布市に対して求める優先順位を示す。

注2：未回答（空欄）および優先順位の重複回答を無効回答とした。

図 2.6.1 調布市の環境への要望

「調布市の環境への要望」は、下記に示す結果が得られた。

- ・調布市の環境への要望について優先順位1位と2位の合計についてみると、「緑や水辺が豊かな自然環境豊かな暮らし」(44.1%)、「人と自然、文化が調和し、美しく調和のとれた暮らし」(39.0%)、「公害のない、穏やかで清潔な暮らし」(28.9%)、「公共交通が発達し、歩いて暮らせる、人に優しいまち」(26.3%)について割合が20%以上であり、優先順位が高かった。
- ・「温暖化対策などが盛んな、地球環境に配慮したまち」(50.5%)、「多様な野生生物が生息する生き物豊かな暮らし」(45.1%)、「ごみの分別、リサイクルなどが活発なまち」(42.0%)については、5位から7位の割合が大きかった。
- ・「環境について学べる、施設や情報が十分提供されているまち」については、8位と9位の合計の割合が61.3%と6割を超えた。

各環境項目について、性別、年齢別、地域別、地域別にクロス集計をかけた。クロス集計による回答の特徴を以下に示す(クロス集計の詳細は、資料編134~157ページを参照)。

「緑や水辺が豊かな自然環境豊かな暮らし(資料編134~136ページを参照)」

- ・要望順位の1位と2位を合わせると各地域とも40%を超えた。
- ・特に、東部地域と北部地域では1位が30%を占めており、他の2地域よりも高かった。

「多様な野生生物が生息する生き物豊かな暮らし(資料編137~139ページを参照)」

- ・東部地域(0.0%)・北部地域(1.9%)では、南部地域(3.8%)・西部地域(4.1%)と比較して1位の割合が小さかった。
- ・1位と2位の合計については、各地域とも20%に達していなかった。

「ごみの分別、リサイクルなどが活発なまち(資料編140~142ページを参照)」

- ・西部地域で1位と2位の合計が11.1%と他地域より低かった。
- ・年齢別でみると、1位と2位の合計が、49歳以下では10.6%、50歳以上では17.4%で、50歳以上の方が高かった。

「温暖化対策などが盛んな、地球環境に配慮したまち(資料編143~145ページを参照)」

- ・地域間における大きな相違は認められなかった。

「人と自然、文化が調和し、美しく調和のとれた暮らし(資料編146~148ページを参照)」

- ・北部地域で1位と2位の合計が41.3%と最も高く、次いで南部地域が40.5%と高かった。

「公害のない、穏やかで清潔な暮らし(資料編149~151ページを参照)」

- ・地域間における大きな相違は認められなかった。

「公共交通が発達し、歩いて暮らせる、人に優しいまち(資料編152~154ページを参照)」

- ・東部地域(29.0%)や西部地域(28.1%)で1位と2位の合計の割合がやや高いが、北部地域(22.6%)では他地域よりも低かった。
- ・性別による大きな相違は認められなかった。

「環境について学べる、施設や情報が十分提供されているまち(資料編155~157ページを参照)」

- ・6位から9位の合計が、最も低い西部地域でも76.0%、最も高い北部地域では80.2%と各地域とも高く、地域間の相違も認められなかった。

「その他」

- ・その他については、資料編158ページを参照。

7 調布市の環境に対する意見（回答数 303 件：複数回答可）（詳細は資料編 159～171 ページを参照）

「設問」

環境に関して、日頃関心のある内容や調布の環境に望むこと、平成 27 年度に改定する環境基本計画へのご意見など、ご自由にご記入ください。

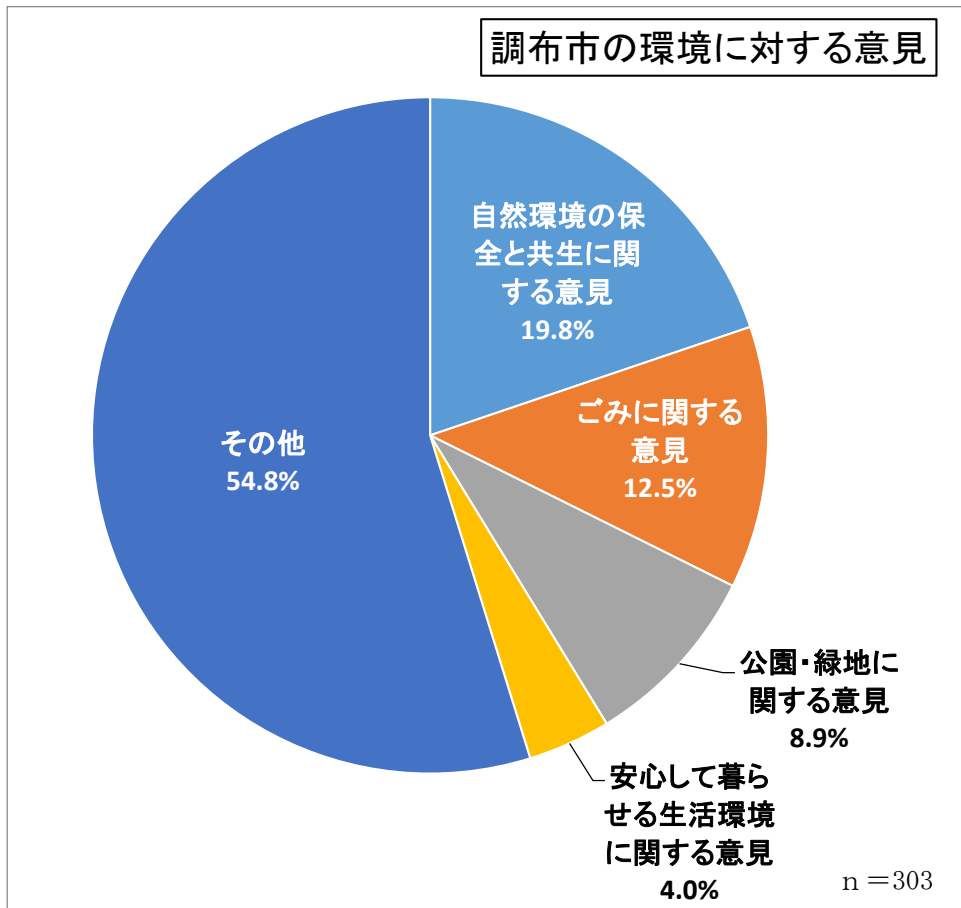


図 2.7.1 調布市の環境に対する意見

調布市の環境に対する意見について、自由意見を集計し、5つの項目に区分し、地域別のクロス集計を行った。以下に回答の特徴を示す。

<全体集計結果>

- ・市全体では「自然環境の保全と共生」に関する意見が 19.6%と多く、次いで「ごみに関する意見」が 12.5%と多かった。

<クロス集計結果（資料編 159～161 ページを参照）>

- ・地域別についてみると、北部地域と西部地域では、「自然環境の保全と共生に関する意見」が多かった。
- ・東部地域では他の地域と比較して、「ごみに関する意見」が多かった。
- ・南部地域では他の地域と比較して、「公園・緑地に関する意見」が多かった。

<自由意見結果>

- ・調布市の環境に対する意見の詳細は、資料編 162～171 ページ参照。
- ・放射線、原子力発電所に関する意見は、303 件中 3 件。

